

(最近までの経緯)

1. 11月13日 柴田議員と連名で使用料軽減措置について市長宛要望書提出
2. 12月13日 桜台地区8自治会連絡協議会同じく市長宛要望書提出
3. 12月28日 助成は困難であるが、平成21年度白井・西白井両駅圏の駐輪場を整備する時点で均衡性について検討するとの回答書受領

(現時点における議員間の考え方)

在来地区議員には「歩いて行け」との考え方がある。

年1万円の使用料は決して高い金額ではないとの意見は多い。

富士地区や西白井駅圏で、鎌ヶ谷大仏駅や新鎌ヶ谷駅を利用している人は、既に年18,000円や24,000円を支払っている。

このように各議員の考え方は結構バラバラです。行政は議会で可決されそうもない議案を提出するつもりがないので、我々としては、議会の合意形成につとめる必要があるかと考えています。

従って、全市的に公平な駐輪場整備及び使用料は如何にあるべきか。時間をかけて取り組む必要があると考えています。

北環状道路の本格整備について

平成25年度で企業庁及び都市機構が、千葉N.T事業から手を引くことになっていますので、10年来放置されているこの問題がいよいよクローズUPされて来ました。

県の本庁がやっと重い腰をあげて来ましたので、本格開通に向けて来年3月までには、すべての測量を終えることになっています。時間がかかるようであれば、その間通称石橋県道の一部を拡げて歩道をつくり、暫定使用ができるように交渉しています。

平成18年10月16日

監査結果の報告

白井市監査委員 木下 彰
 白井市監査委員 多田育民

定期監査

1. 監査期日 平成18年9月25日(月)
2. 監査対象 総務部 総務課 秘書課 財政課 企画政策課
行政改革推進室 課税課 収税課

3. 監査結果

- (1) 職員の同一職場の在職年数を考慮し、適切な配置に留意されたい。
 - (2) 一般競争入札の基準金額を早期に見直しされたい。
- 上記のほか、とくに指摘すべき事項はありません。



早稲田大学第一法学部卒 元大蔵大臣衆議院議員三塚博秘書 元大山口2丁目住宅管理組合理事長
 白井町議会運営委員長/文教常任委員長/ニュータウン対策特別委員長/北総開発鉄道・成田新
 高速鉄道促進議員連盟会長 白井市監査委員 あしながPウォーク10白井コース実行委員長

白井市議会議員 多田 育民

(無所属)

〒270-1412 白井市桜台 2-4-1-104 TEL 047-491-3644 FAX 047-491-5244

E-mail: tada-yasutami@rur.bannet.ne.jp http://www1.rur.bannet.ne.jp/~tada/



白井市議会議員

多田 育民

白井市桜台 2-4-1-104

TEL 047-491-3644

FAX 047-491-5244

明けましておめでとうございます。

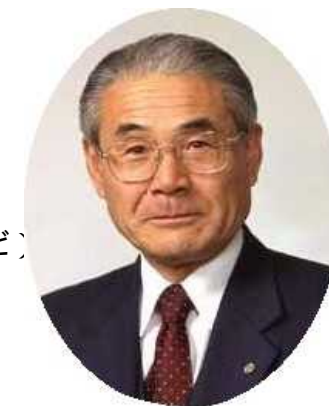
皆さんお元気ですか。私の議会報告をお届けします。

昨年は何かとお世話になり大変感謝しています。

又、今年もよろしく願います。



平成18年度12月定例議会は11月24日から12月14日まで22日間開催され15本の議案(教育委員任命の同意を求める議案など)、2本の継続議案(平成17年度一般会計決算の認定など)陳情1本、発議案4本(教育基本法の慎重審議を求める意見書など)を審議しました。詳細は議会だより等をご覧ください。



市町村合併第2幕始まる

印旛村と本埜村とは、11月2日印西市に対し、合併の強い要望書を提出しており、そのことが11月21日印西市議会全員協議会において発表されました。

又、12月28日には、審議会の答申を受け、県は新合併構想を策定、発表しました。

2010年度には、成田新高速鉄道が開通し、2013年度には、企業庁と都市再生機構とが、千葉N.T事業から完全に手を引くことになっています。

周辺環境が大きく変化する中で、2市2村の合併問題は、再度この地域における政治上の最大テーマになると考えられます。

私は、政治家の責務として、本件合併問題に真摯に取り組んで参る所存です。

又、私は暑中見舞号でも表明しておりますが、住職学遊のまちづくりを推進するためと北総鉄道の運賃を安くするため、千葉N.T花博を開催し、国際交流をテーマとする仮称ワールドパークジャパンを誘致したいと考えております。

素より浅学非才の身ではありますが、何卒微意をお組みいただき、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

(2)

千葉N・T花博開催とテーマパークの誘致構想(私案)

1. 基本構想

成田新高速鉄道の開通を記念して、世界都市千葉ニュータウンにおいて、国際的な国内博覧会(花博)を半年間開催する。

閉幕後は、その施設をできるだけ残し、民間企業が新たに「国際」をキーワードとするテーマパークを建設し、経営する。

2. 基本テーマ

「グローバル感覚の感動体験拠点」を創る。

3. 名称

(仮称)ワールドパークジャパンとする。

4. 目的

国及び県としては、日本の表玄関である成田空港のポテンシャルを生かし、国際交流の拠点として、本施設を成田・千葉ニュータウン業務核都市基本構想の中に位置づけ、観光立国・観光立県の一助とする。

千葉ニュータウン地域としては、国際的なテーマパークの運営によって「住職学遊」のバランスのとれたまちづくりを推進する。併せて双方向の乗客を確保することによって、北総鉄道の運賃を安くする。

5. 内容

アメリカのディズニーワールドにあるエプコットセンターを参考にして、世界20ヶ国の物産とエンターテインメントのネィティブなテーマ館をつくる。又日本館としてはわが国の過去・現在・未来をテーマとする10館をつくる。

日本館の一つとして、平成4年に事業化を断念した成田ジャパンビレッジを参考にして、江戸城と大江戸八百八町を再現し、日本の中の日本をつくる。

同じく日本館の一つとして、世界の少女に門戸を解放する歌と踊りの歌謡学校を経営し、浅草にあった松竹SKDを再建し、宝塚を越えるショウビジネスをたちあげる。

6. ロケーション

成田新高速鉄道は、国策として既に1261億円の予算措置がなされ、去る2月4日着工し、2010年度には竣工予定である。又国道464号北千葉道路(印旛~成田)も559億円の予算措置がなされ、鉄道との一体整備区間として同時着工した。

この鉄道が開通すれば、成田空港と都心とが最速36分で結ばれ、羽田空港とも直結するし、一般特急も1時間に3本程度走ることになっている。

又、北千葉道路は東関東自動車道に直結する予定である。

7. 用地

千葉ニュータウン内の用地60ha程度を事業用借地として当てる。

8. 方法

関係各位の賛同を得て、早急に花博とテーマパークの研究会を設立し、事業主体の誘致を図る。

(例、1.成田国際空港(株) 2.(株)千葉銀行 3.京成電鉄(株) 4.(株)オリエンタルランド
5.(株)ミキシング 6.イオン(株) 7.(株)ロッテなど)

事業主体は、夕張メロン城のような第3セクターではなく、元気のいい企業及びその集団とする。



(3)

花博(国際園芸博覧会)とは

オランダのハーグ市にある国際園芸家協会(AIPH)に認定された国際的な博覧会であり、A類とB類とに分かれる。

A類は国際園芸博覧会であり、B類は、国際性のある国内園芸博覧会である。

私が現在、千葉ニュータウン花博として考えているものは、小規模国際博と大規模国内博(A2+B1認定)として開催するものであり、2000年の淡路花博や2004年の浜名湖花博と同じものである。

ちなみに、しずおか国際園芸博覧会の開催主体は、財団法人となっており、名誉会長は静岡県知事で、会長には鈴木自動車の会長が就任している。

予算概要は、県出資金30億円、浜松市10億円、(財)博覧会協会への協賛金11億円、売上収入126億円合計177億円となっている。

今後のスケジュールとしては、1年少々の検討準備期間を経て、2008年春には県として立候補していただき、同年秋の総会において国際承認をしてもらうという段取りでは如何でしょうか。



赤字の原因は殿様商売にある !!

梨ブランデー(株)の赤字の原因は、役所が商売をやっていることにあります。

現在6人の取締役がいますが、全員非常勤且つ無報酬で名前だけです。従って法律上の責任はありますが、実質的にはすべて役所が経営をやっています。

役人が商売をやれば、武士の商法で、夕張メロン城のようになることは明らかです。従って私は、市が所有している6,930株(89.83%)を市民に放出して、民営化することが、再建の唯一の道だと主張しています。

仮に1万円で売れば、6,930万円入ってきますし、2万円で売れば、1億3,860万円は入ってきますから、その金の一部で経営者や営業マンを公募して、すべて任せてしまうことが肝要だと考えます。

民間の普通の経営者であれば、新しい株主に年1万円や2万円の商品を買ってもらうようにすることは易しいことですから、売上は1年で2倍以上となり、簡単に黒字が出るようになると思います。

市がどうしても筆頭株主になりたいのであれば、何十%かを残せばよいのですが、絶対に50%を超えてはならないと考えます。

最後は、市長が市民を信じて、その決断をするかどうかで、白井梨ブランデー(株)の再建は決まると考えますが、如何でしょうか。